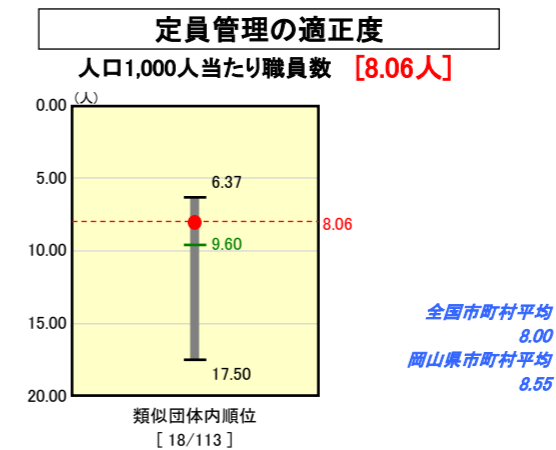
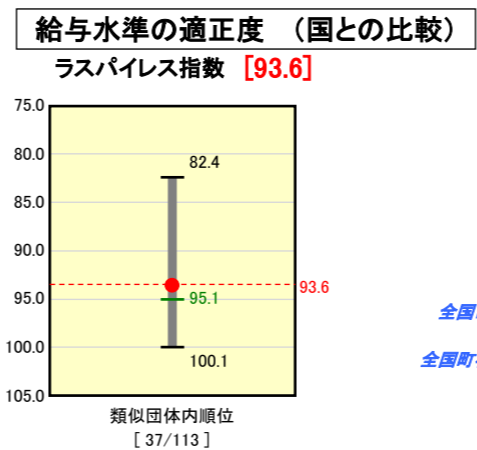
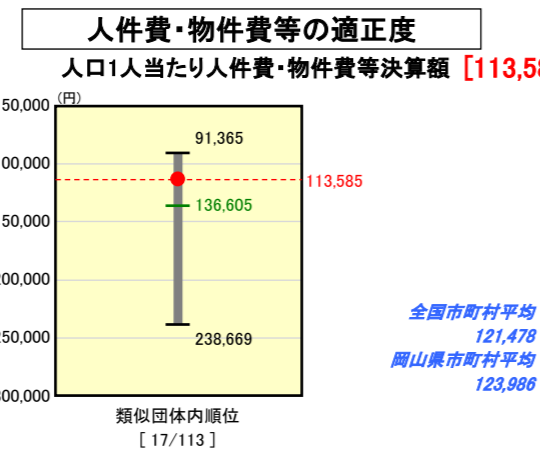
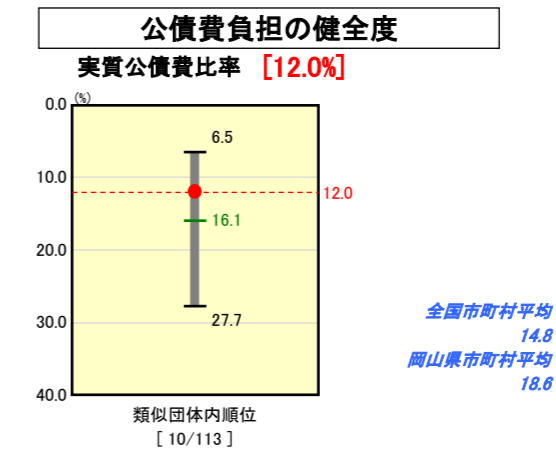
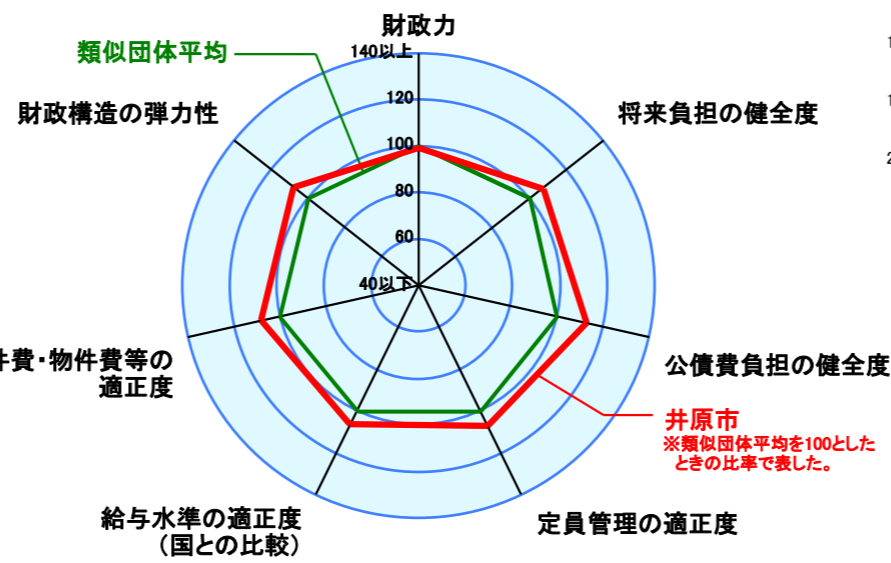
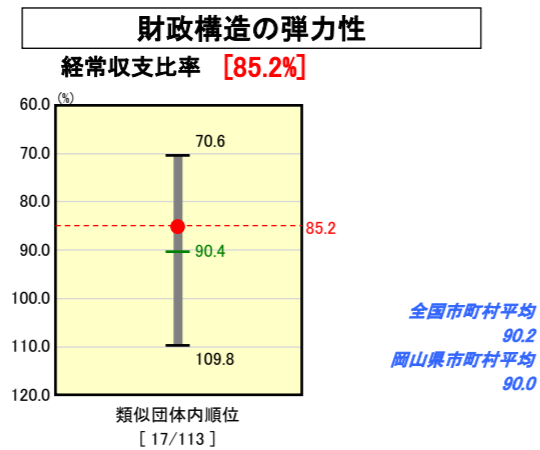
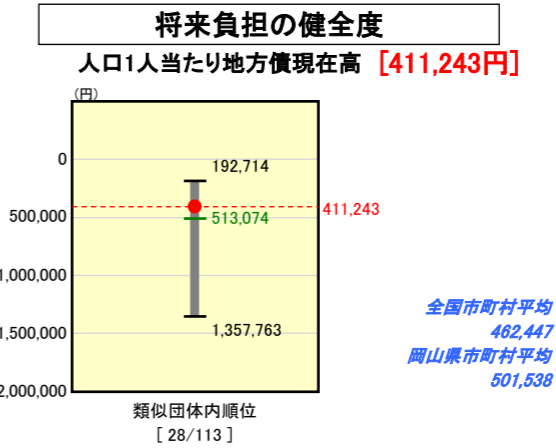
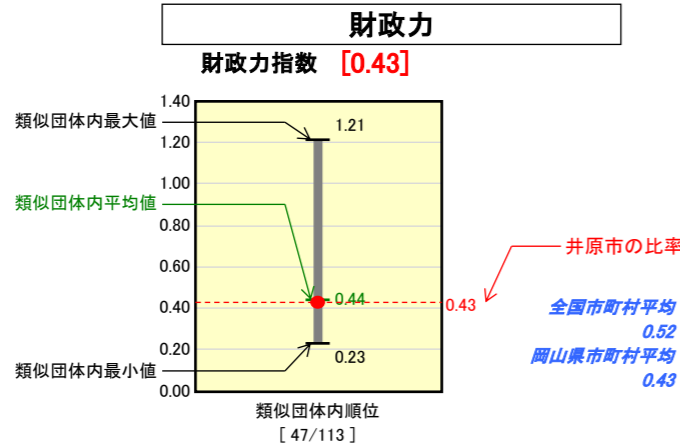


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 岡山県 井原市

人口	46,418 人(H18.3.31現在)
面積	243.36 km <sup>2</sup>
歳入総額	20,075,141 千円
歳出総額	18,656,129 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数:** 一部主要企業の業績の好調等による法人市民税の増加で、前年と比較すると若干改善しているものの依然と類似団体・全国平均ともに下回っており、地方交付税などの依存財源に頼るところが大きい財政状況となっている。

**経常収支比率:** 類似団体・全国平均ともに下回っているものの、今後も地方交付税の減額や扶助費等の福祉関係経費の増加が見込まれるので、人件費の抑制、各種団体への補助金の見直し及び義務的経費を除く経常経費について徹底的な見直しを行い、より一層の節減を図るとともに、市税収率の向上(目標: 現年分収率98.5%)を図るなど自主財源の確保に努め、比率の引き下げに努める。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額:** 類似団体・全国平均と比較して人件費・物件費等の適正度が低くなっているが、今後も人件費の抑制や経常経費の徹底的な見直しによって、引き続き水準を抑える。

**ラスパイレズ指数:** 職員給与については、旧来より抑制してきたことから、極めて低い水準で推移している。今後は職員の士気を高め資質の向上を図るためにも、現行の年功的要素の強い昇任・昇級制度から能力・成績に応じた制度への転換を図る。

**人口1人当たり地方債現在高:** 類似団体・全国平均ともに下回っているが、今後も新市建設計画事業を含めて「事業評価システム」を活用して、各事業間の優先順位の明確化や厳しい取捨選択を行い、重点的・効率的に執行していくことで、上昇を防ぐ。

**実質公債費比率:** 過去からの起債抑制策により類似団体・全国平均ともに大きく下回っているが、下水道・簡易水道・病院事業会計への公債費財源繰出金の増加により数値の上昇も予想されるので、今後も「起債発行額20億円」の上限枠設定などにより、引き続き水準を抑える。

**人口1,000人当たり職員数:** 類似団体平均を下回っているものの、今後についても引き続き「退職者の不補充」等により職員数の削減を図り、「井原市定員管理適正化計画」を見直し、計画に沿った適切な人員配置に努める。